

議 事 録

- 1 会議名 平成２８年度第２回さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議
- 2 日 時 平成２８年７月２２日（金）１０時００分～１２時０５分
- 3 場 所 さぬき市役所 ２階 ２０３会議室
- 4 出席者 （ 委員 ）
尾崎委員 大塚委員 多田委員 岩村委員 福家委員 池田委員
岩田委員 鈴木委員
（ 市 ）
総務部政策課 白井課長 津村副主幹 三宅主査
- 5 傍 聴 １名
- 6 会議次第
 - 1 開会
 - 2 座長あいさつ
 - 3 議事
 - （１）まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況調査結果について
 - （２）今後のスケジュールについて
 - 4 事務連絡
 - 5 閉会
- 7 配布資料
 - さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況一覧（平成２７年度）
 - さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況調査（平成２７年度）に係る重要業績評価指標（ＫＰＩ）一覧

8 議事の経過及び発言要旨

	＜ 開 会 ＞ （ １０：００ ）
事務局	只今から、平成２８年度第２回さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議を開催する。開会にあたり、多田座長に挨拶をいただくとともに、議事進行をお願いする。
座長	＜挨拶＞
座長	<p>本日の会議は、１２時を目途に終了したいので議事進行にご協力をお願いしたい。それでは、議題１ まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況調査結果について。事前配布された資料に基づき、平成３１年度における重要業績評価指標（ＫＰＩ）目標値の達成に向けた意見交換を行いたい。</p> <p>委員各位の意見を求める前に、事前配布された資料の見方を再確認するとともに、平成２８年７月１４日に開催された「第１回さぬき市まち・ひと・しごと創生本部会議」及び平成２８年７月１９日に開催された「さぬき市議会地方創生に関する特別委員会」で出された意見について、事務局から説明と報告をお願いします。</p>
事務局	＜説明及び報告＞

座長	<p>平成27年度のKPI実績値については、戦略策定から半年足らず経過した時点での実績ということもあって、ただちに上向きの数値が出ていない事業があるほか、未着手の事業もあることを理解してもらいたい。</p> <p>有識者会議の役割は、平成27年度及び平成28年度における具体的施策の取組状況とKPIの進捗状況確認、平成31年度のKPI目標値達成に向けて平成29年度に取り組むべきことを提言することである。その点を踏まえてご意見いただきたい。</p>
委員	<p>資料2【さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況調査（平成27年度）に係る重要業績評価指標（KPI）一覧】のうち、進捗状況が低調な事業、とくに未着手となっている事業については、現実的に目標値を達成できるのか。</p>
座長	<p>質問に対する事務局の回答は、最後にまとめることとしたい。</p> <p>委員各位には、引き続き意見ををお願いする。</p>
委員	<p>「さぬき市観光協会ホームページ訪問者数」については、私の感覚でいえば、もっと積極的に目標値を上方修正して取り組んでもよいと思うし、達成できると思う。</p> <p>「高速バス乗降人数」については、KPI目標値を上方修正する意向であるとのことだが、最近では高速バス駐車場が常に満車状態であり、高速バス利用が好調だと実感している。「人の流れをつくる」という基本目標の達成にも役立つと思うので、ぜひ駐車場の拡張なども検討していただきたい。</p>
委員	<p>取組が着実に進展していることは確認できた。ただ、さぬき市へ移住した私自身の経験から意見すれば、もう少し特徴ある取組があってもよいのではないかな。</p> <p>「パパママ教室の参加者数」を目標値に設定することは、子育て世代の横のつながり、子育て世代のネットワークを生かせる好事例であると感じた。</p>
委員	<p>KPIを達成するためには、ある分野に特化した「さぬき市の目玉」といえる事業を実施するような検討も必要ではないかな。</p> <p>すでに委員から指摘のあったとおり、進捗状況が低調な事業は、これまで乗り越えられなかった何かしらの障害が存在していると考えられる。従来どおり担当所管課が単独で挑戦する「縦割り型」では、KPIを達成できない可能性が高い。</p> <p>目標を達成するためには、国の交付金等を十分活用できるよう、庁内で情報共有や連携が密にできる組織横断的な部署を新設したり、実行部隊（ワーキングチーム）を組織したりしてもよいのではないかな。こうした取組から、商工業と農業の連携など、新しい連携のかたち生まれるような展開を期待している。</p> <p>一方で、さぬき市商工会など既存組織との連携を強化したり、連携強化した内容を若手事業者へ広く周知したりするなど、いまある連携を生かし、強化することも不可欠である。そうすれば、特産品開発に関する補助金などが、特定の事業者ばかりではなく、新たな事業者が利用する可能性が増えるのではないだろうか。</p>
委員	<p>他の自治体の取組状況も確認したが、平成28年度時点で未着手という事業も多く見受けられた。戦略策定から半年足らずでKPIを大幅改訂する必要はないと考えるが、今後どのタイミングで予算を措置して着手するのか、庁内で見通しを立てて実施していただきたい。</p> <p>「奨学金の減額者数、受給者数」については、現時点で施策化できていないため、実績値がゼロであると理解しているが、施策化に向けたアンケート調査結果の分析が進んでいるのか知りたい。</p>

委員	<p>総合戦略における基本目標と具体的施策、K P I の因果関係について、体系立てて分析できているのか。戦略の基点となる事業が不明瞭になっていると感じる。</p> <p>すでに委員から指摘もあったが、定住促進や雇用創出、子育て支援など、全ての施策は一体のものであって、個別に切り離すことはできない。どの事業を柱として戦略を見直すべきなのか再考してもらいたい。</p> <p>例えば、「高速バスの乗降者数」だが、現在のコミュニティバスの路線は高速バスストップに接続していますか？</p>
事務局	<p>志度バスストップ、津田バスストップともに接続している。</p>
委員	<p>高速バスの乗降者数を増やそうと思えば、コミュニティバスのダイヤや便数の改正などを検討する必要があるかもしれない。さらに言えば、さぬき市の観光戦略の見直しまで必要となるかもしれない。これはあくまで一例だが、担当所管課が個々の目標値を追いかけるだけでは、これまでネックとなってきたハードルを乗り越えるような結果は出てこないと思う。</p> <p>また、産業振興や企業誘致で創業支援を行う場合、設備投資額とともに新規雇用者を支援要件として掲げることが多いが、例えばこの新規雇用者を「10人以上」ではなく「現従業員の10%以上に当たる新規雇用者」と定めたほうが地域に根差した企業が活用しやすい制度になるのではないかな。</p> <p>このほか、定住人口を増やしたいのであれば、地元企業への就職を機に転入した方への家賃補助制度なども考えられる。創業支援もよいが、新たに起業するのは多大な労力を要する。雇用を増やすといっても、そう簡単にはいかず、近隣での労働力の奪い合いに終わりがねない。そこで、少し離れた地域から労働力を得ようと努力した企業を支援するという手法もあるのではないかな。遠方から若い労働力をさぬき市へ呼び込むことができるかもしれない。市民が増えれば税収が増え、地域で使うお金も増えて地域活性化にもつながる。</p> <p>さぬき市の人口減少に歯止めをかけるために、何かエッセンスが欲しい。</p>
委員	<p>農業経験を有するものとして意見するが、「オリーブ栽培面積」について、栽培面積拡大を目指すのであれば、さぬき市農林水産課や香川県東讃農業改良普及センター、J A 香川県が知識や熱意を持っていることが重要だが、職員や営農指導員は必要な知識を有しているのか。</p> <p>新規就農者の確保や農地の集約化、地産地消に向けた商品開発等を関係者が協力して行っているが、残念ながら高齢農家の離農に追いつけていないのが実情である。</p>
座長	<p>委員からの発言について、事務局から回答できることがあればお願いします。</p>
事務局	<p>進捗状況が低調な事業への対応については、委員から意見のあったとおり、戦略策定から約半年が経過した時点での実績であり、制度化に向けて着実に歩みを進めている事業も多いことから、まずは担当所管課の成果を期待して待ちたい。</p> <p>なお、平成29年度の進捗状況調査時点で未着手や足踏み状態であった場合には、今後の方向性について当然協議を行うものと考えている。</p> <p>「さぬき市観光協会ホームページ訪問者数」については、担当所管課から更新頻度の向上などの案も出ているが、委員から具体的な提案があれば意見いただきたい。</p> <p>「高速バス乗降人数」については、高速バス駐車場の拡張などの意見もあると思うが、観光客入込客数といった費用対効果に関する検証が必要であると考えている。</p>

事務局	<p>「もう少し特徴ある取組を」や「さぬき市の目玉施策を」という意見については、総合戦略を策定する過程で意見を出しあい検討してきた。その中で、「働く場をつくる」、「人の流れをつくる（変える）」、「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「生きがいをもって、安心して住み続けられる地域社会をつくる」という4つの基本目標に従い、最終目標である「2060年時点で人口32,000人」を達成するために何ができるのか、何をすればよいのかを担当所管課と協議しながら作りあげてきたという経緯がある。</p> <p>しかし、総合戦略の見せ方や新たな取組のアイデアがあれば意見いただきたい。</p> <p>「パパママ教室の参加者数」については、参加者数を伸ばすために新たに歯科検診を盛り込むなど工夫していると聞いているので、成果を見守っていただきたい。</p> <p>総合戦略に関する取組を集約、一本化して取り組むワーキンググループや部署の新設に関する意見については、これまでの会議でも意見いただいていることから、有識者会議の提言書をまとめる過程で貴重な意見として盛り込んではどうかと思うので検討いただきたい。</p> <p>奨学金に関するアンケート調査については、担当所管課で取りまとめ作業中と聞いているので、集約結果が公表できるようならお示しさせていただく。</p> <p>現在の各種支援制度を利用しやすいようにするための新規雇用者数の条件や市内事業所に勤める従業員向けの家賃補助制度などのアイデアについては、担当所管課に伝えさせていただく。</p> <p>また、「オリーブ栽培面積」に対していただいた意見も、担当所管課に伝えさせていただく。</p>
事務局	<p>追加して説明させていただく。</p> <p>平成27年度の実績値がゼロという事業の中には、平成26年度で終了予定の国事業を市で引継ぐ予定で戦略に盛り込んだが、国が継続実施することとなったため足踏みしているような事業も含まれている。こうした事業については、国の動向に関わらず今後のあり方を含めて検討していきたいと考えている。</p> <p>また、全体的な体系図については、先ほど説明した4つの基本目標を踏まえたものとなっている。資料2は、目標数値を列挙したものと理解していただきたい。</p>
委員	<p>私は、もう少し具体的に、踏み込んで意見させていただいている。</p> <p>「創業支援」を例にとれば、どういった産業をターゲットとしているのか。</p> <p>例えば、先ほど委員から意見のあったとおり、個人農家が高齢化で成り立たなくなっている現状で、どうすれば新たに農業に従事してもらえる人を増やせるのか。解決策のひとつとして、個人農家の農業法人化があるかもしれない。つまり、「農業従事者の増加」と「創業支援」という2つの施策が結びつき、新たな可能性が生まれる可能性もある。</p> <p>私が勤める企業を例に出すと、従業員のうち兼業農家が約4割を占めている。従業員たちが定年を迎えたとき、再雇用の受け皿として農業経営を選択することも可能かもしれない。このような取組は、地域に根ざした企業だからこそ可能であって、首都圏の大企業には絶対に真似できない。</p> <p>「創業支援」は商工業に限られると思込んでいないか。農業振興は別の施策だと決め付けていないか。そのような考え方では、さぬき市は衰退を待つばかりである。ひとつひとつのキーワードを一本の柱として施策を体系化して取り組めば、これまで</p>

	<p>さぬき市がターゲットと定めて取り組んで生じてきた効果よりも、さらに効果とPR度が高まるのではないかな。</p>
委員	<p>さぬき市の課題として私たち委員が認識しているのは、まさに指摘いただいた部分である。庁内各部署に関連している課題であるはずなのに、どの部署にも当事者意識がない。先ほどの「創業支援」を例に出せば、創業支援セミナーに参加したいと思う農家がいても、参加資格として「さぬき市商工会への加入」が条件となっているため、農業分野の方が気軽に参加できる状況にはない。</p> <p>農業者と商工業者は、必ずマッチングできる存在である。このような「縦割り」の思考ではダメだと各部署に認識していただきたいし、もっと柔軟な組織を目指していただきたい。</p>
委員	<p>農業者と商工業者のマッチングなんて困難だと思われるかもしれないが、大企業は企業内でアグリ部門とマーケティング部門が連携して事業化に乗り出している例もある。いま例として示されたマッチングそのものである。もちろん、こうした取組を実現するためには、各分野の企業や産業従事者が垣根を越えて連携するという強い思いがなければ成立しない。行政には、地域全体が潤うためのコーディネート役としての役割を果たしてほしい。</p> <p>あと一步、あとひとつのエッセンスがほしい。先ほど意見が出た、専門性を持ったワーキングチームを組織することも手立てのひとつとして有効かもしれない。</p>
委員	<p>個人農家の中には、高齢化で各種書類作成に苦勞する農家も少なくない。何か手立てはないかな。</p>
委員	<p>農業経営士の資格を取得して組織経営化を目指す方もいる。</p> <p>農業を拡充するために、経営支援を行うことも有効かもしれない。</p>
委員	<p>新規就農者や認定農業者は繁忙期の支援体制を構築するなど横のつながりを形成しているが、既存農家は伝統的で閉鎖的な農業を続けている。ぜひ若手農業者が活躍できる農業環境を手助けしてあげたい。</p>
委員	<p>せっかくの地域資源である農業や地場産業も、どれだけの効果を生むのか検証して事業を行わなければ効果が半減してしまう。</p> <p>例えば、地元産業PRの一環として、現在実施しているケーブルテレビの文字放送に加えて、音声告知放送でもCM放送をできるように拡充してもよいのではないかな。</p> <p>一方で、これまで旧5町単位で分散して開催してきた地域活性化の取組を整理する時期が来ているとも感じる。さぬき市全体としてストーリー性を持った催しに再編し、分散会場として歴史ある地域の催しを残すなど、手法はいくらでも考えられる。</p> <p>すべては、考え方を少し変えれば実現できることばかりなのではないかな。</p>
委員	<p>例えば、協議会方式で組織を運営する場合でも、「縦のつながり」だけでなく「横のつながり」で他分野の人を巻き込んで議論したほうがおもしろい。そして、出された意見をもとに国の支援制度などをうまく活用すればよい。</p> <p>今回の地方創生でも、さぬき市は国の地域経済循環創造事業交付金を活用するために必要な計画を策定済である。産官学金労言の連携をうまく活用してもらいたい。</p>
委員	<p>基本目標や具体的施策を「ロジックツリー」にまとめてみるなど、誰が見ても分かるように整理したほうが、担当所管課の役割や責任が明確になる。</p>

事務局	<p>総合戦略は、各課の意見を軸に、出された取組を分類分けして取りまとめたものであるため、取り組む課が複数にわたるような「横の連携」を生かした具体的な施策は少ない。今後、取組を進める中で見えてくる課題を踏まえ、現状を打ち破れるよう努力したい。</p>
委員	<p>最初から完璧な「横の連携」は考えにくい。取組を進めるなかで、担当所管課のつながりを深めてもらいたい。</p>
事務局	<p>地方創生とは、さまざまな立場からいただいたご意見を参考に、これまで行政だけでは突破できなかった障壁を打破する取組だと理解している。総合戦略で掲げる課題は単純に解決できるようなものはひとつもなく、複合的な取組が不可欠であるので、関係各位の協力を得ながら課題解決を目指す。</p> <p>委員からの意見に対する回答に戻ります。</p> <p>「創業支援事業計画に基づく創業件数」については、平成27年度実績値は9件となっていますが、飲食業や不動産業、サービス業など多岐にわたると聞いている。</p> <p>「企業立地に関する支援件数」については、香川県の支援制度を活用できない、小規模事業所に対する支援件数であって、平成27年度実績値は3件となっている。</p> <p>「奨学金」については、担当所管課で調整しているが、制度のあり方について現在検討中と聞いている。</p>
座長	<p>皆さんの意見を総括すると、「連携」がキーワードだと感じた。現在のさぬき市は、情報が縦割りになっていて、円滑に回っていないのではないかと。また、担当所管課と関係課の間で情報共有できていない。たとえ情報共有できていたとしても、施策の取組状況が外部団体、例えばJAや商工会まで必要な情報が行き届いていないことが考えられる。つまり、「実行部隊同士で垣根があるケース」と「実行部隊と受益者の間で垣根があるケース」、2つの課題があるのではないかと。</p> <p>委員から指摘のあったとおり、関連が多岐にわたる課題や大きな効果が見込まれる課題には、必要に応じて、ワーキングチームや一時的な任務遂行部隊を組織する必要があると感じた。</p> <p>それでは、次の議題に移らせていただく。</p>
座長	<p>議題2 今後のスケジュールについて。</p> <p>これまでの議論を踏まえ、担当所管課の取組状況についてヒアリングを実施し、今後の計画見直しの参考としたいと思う。</p>
事務局	<p>委員の希望に応じて担当所管課ヒアリングや意見・要望等の聴取等を実施するが、委員の意見はどうか。</p>
座長	<p>事務局は、委員の参加を問わず、各課との進捗状況等の確認協議は行う予定なのか。</p>
事務局	<p>行うつもりである。</p>
座長	<p>事務局の協議結果を受けて、第3回目の有識者会議が開催されることになるが、委員として同行するべきか、後日報告を受けるに留めるべきか。</p>
事務局	<p>事務局としては、関係所管課と、随時、協議を行うことを想定していたが、委員が</p>

	出席して意見いただけるのであれば、正式にヒアリングの場を設けたい。
委員	部局ごとに事務協議を行うのであれば、ヒアリングを実施してもよいのではない か。日程を決めてもらえれば、参加できるよう調整したい。
事務局	それでは、ヒアリングを実施する方向で調整する。
座長	事務局には、担当所管課の課題や悩みを引き出せるよう努力してほしい。課題が見 えれば、問題解決の道が見えてくるはずだ。 総合戦略は平成31年度に向けた取組であるが、これまで附属機関等の委員を務め た経験から申し上げると、計画見直しのカギは中間年に当たる平成29年度にあると 考えている。例えば、市民に注目してもらうためのフォーラムやアンケート調査等 を実施してもよいのではないか。
事務局	平成29年度には、さぬき市総合計画の見直しを目的としたアンケート調査を予定 している。総合戦略のアンケートを併せて実施することも視野に検討する。
委員	アンケートの実施はよい意見だと思うが、まずは市民に対して総合戦略を浸透させ る必要があるのではないか。丸亀市では総合戦略を冊子にまとめて配布したと聞いて いる。
座長	現在、市民憲章の策定を進めていると聞いている。例えば、市民憲章策定の周知と 併せて広報すれば効果的なのではないか。
事務局	検討する。
委員	広報に関連して意見させていただくが、ホームページの一元化も重要ではないか。 現在、市公式サイトほかに、観光協会や移住促進などのサイトが散在している。 たしかに、バナーからリンク先へ進めばよいことかもしれないが、閲覧者の立場から すれば公式サイトを離れて接続することに不安を覚える。現在は、年齢層を問わず、 パソコンやスマートフォンでインターネットを楽しんでいる。公式サイトは、さぬき 市へ訪れる方が最初に触れる顔ともいえる場なのだから、整理統合したほうがよい。
委員	公式サイトリンク集を整理するだけでも効果があるのではないか。
委員	会議では、「横の連携」という意見が多く出た。できることから少しずつ改善すれ ば、次のステップへのきっかけとなるはずだ。さぬき市の特徴でもある超高速ブロー ドバンド網を活用すれば、先ほど言われていた書類づくりが苦手な農業者と書類づく りが得意な人をつなぎ、新しい成果もでてくる可能性があるのではないか。インター ネットが苦手な方にも、さぬき市ホームページを利用するきっかけづくりが必要か もしれない。
委員	公式サイトがきれいに整理されている自治体は、第一印象が良くなる。単純なこと かもしれないが、さぬき市が活性化する糸口になるかもしれない。
座長	それでは、まとめさせていただく。 ヒアリング日程は、事務局が担当所管課と協議して決定させていただく。出席できる 委員はヒアリングに参加していただきたい。参加できない場合で特に意見があれば、

	事前に事務局へ伝えておいていただきたい。よろしいでしょうか。
委員	<異議なし>
座長	その他ですが、事務局から特に意見がほしい取組はありますか。
事務局	ご意見を伺いたかった取組については、おおむね意見をいただけたと思う。特別に意見がなかったものについては、特段支障はない、という意見と認識させていただく。
委員	<p>先ほどの議論に戻って恐縮だが、平成31年度目標値を達成するためのアプローチの突き詰めが弱いのではないか。</p> <p>「特産品開発・ブランド化件数」では、15件を目標にしているが、企業への啓発活動や勉強会の開催、新商品開発に対する補助制度の周知など、アプローチ方法を綿密に練らなければ目標は到底達成できない。目標を達成するためには何が必要なのか、誰と連携すれば達成への近道となるのか、しっかり考えてほしい。</p> <p>地方創生は全国の自治体が行っている。さぬき市の取組を「なるほど」と皆に納得させることは大変な努力を要する。「努力しましたが目標に届きませんでした」では、これまでの繰り返しに終わってしまう。</p>
事務局	目標達成のためには、複数のルートやチャンネルでアプローチすることが絶対に必要になることを、戦略に掲げた取組を実践する中で感じている。課題を打ち破ることは非常に難しいが、KPIの目標値達成に向けて、関係課とともに諦めずに挑戦しているところである。貴重なご意見として受け止めたい。
委員	アプローチを続けていけば、何がハードルなのか見えてくる。限られたメンバーでのアプローチには限界があるので、担当所管課だけでなく関係団体にも相談するなど、できることからハードルを突破するための方策を考えてほしい。
座長	<p>あらためて、次回会議のスケジュールを確認する。</p> <p>次回会議はヒアリング後となる。日程調整について発言をお願いしたい。</p>
委員	<聞き取り>
事務局	<p>本日の会議内容をもとにヒアリングを実施する。次回の会議には、ヒアリング結果を踏まえた有識者会議の提言書の原案を準備させていただく。</p> <p>あわせて事務連絡を2件。</p> <p>第1回資料に誤りがあったので次のとおり訂正する。</p> <p>・資料1 基本目標3 16施策 ⇒ 15施策</p> <p> 計 54施策 ⇒ 53施策</p> <p>続いて、委員へ送付した第1回有識者会議の議事録に関する訂正を報告する。</p> <p>・傍聴者 0人 ⇒ 1人</p>
座長	<p>本日の会議内容やヒアリングの日程、次回会議の案内等については、事務局からあらためて連絡する。</p> <p>以上で第2回目の有識者会議を終了する。</p>
	< 閉 会 > (12:05)